

# 検査情報月報 12月号 ◀ 概要版 ▶



Eiちゃん

▶ 横浜市衛生研究所では、所内で実施した試験検査などの結果に解説を加えて、『検査情報月報』を発行しています。



## 農産物の残留農薬検査結果（令和2年10月）

食品中に残留する農薬等が、人の健康に害を及ぼすことのないよう、厚生労働省は農薬等について残留基準を設定しています。当所では、横浜市内に流通する農産物等に残留する農薬の検査を行っています。

- 主な結果** ▶ こまつな6検体、玄米4検体、かんしょ5検体、だいこんの根及びなす各3検体、にんじん及びばれいしょ各2検体、キャベツ、さといも、はくさい及びピーマン各1検体について検査を行いました。こまつな4検体、なす及びはくさい各1検体から農薬が検出されました。
- ▶ このうち、こまつなから検出されたトルフェンピラド(0.03ppm)は基準値(0.01ppm)を超えるものでした。

## 遺伝子組換え食品の検査結果（令和2年度）

遺伝子組換え食品は、内閣府にある食品安全委員会で安全性に問題ないと判断され承認された後、国内での製造・輸入・販売等が可能になります。横浜市では平成13年度から、安全性が未審査の組換え遺伝子が市内に流通する食品に混入していないか、また、適正な表示が行われているかを検査し確認しています。

- 主な結果** ▶ 安全性未審査組換え遺伝子の定性試験として、トウモロコシ加工品18検体、コメ加工品10検体を検査した結果、**いずれも不検出**でした。
- ▶ 安全性審査済み遺伝子の定量試験として、ダイズ穀粒2検体を検査した結果、**いずれも混入率は5%以下であり、違反検体はありません**でした。

## 横浜市衛生研究所WEBページ情報（令和2年11月）

感染症情報、保健情報、食品衛生情報、生活環境衛生情報、薬事情報などを提供するWEBページです。この記事ではアクセス件数をもとに、どのような情報に関心が寄せられていたかを解説しています。



- 主な結果** ▶ 総件数は 321,298 件でした。このうち、**横浜市感染症情報センターが提供している記事へのアクセスが約9割を占めました。**
- ▶ 本センターでは、感染症対策の一環として、横浜市内における患者情報及び病原体情報を収集・分析し、速やかに提供・公開しています。

横浜市 検査情報

